

# 男女共同参画とは

## 目標

・性差による職業観にとらわれず、男女が相互に認め合える労働観を育成する。

◎：人権教育上の配慮

## 展開例

### 学習活動

#### 導入

- 1 資料1を見て気付いたことを発表する。
- 2 学習課題を確認する。

#### 展開

- 3 資料1を踏まえ、職業の中で、どんな仕事をしているのか考えさせる。
- 4 ある企業で女性が多い部署に男性が入ったら何ができるか、考えさせる。また、その逆も考えさせる。

#### まとめ

- 5 職業や労働のなかで、相互が認め合えるような環境をつくるために、どんなことができるのか発表する。

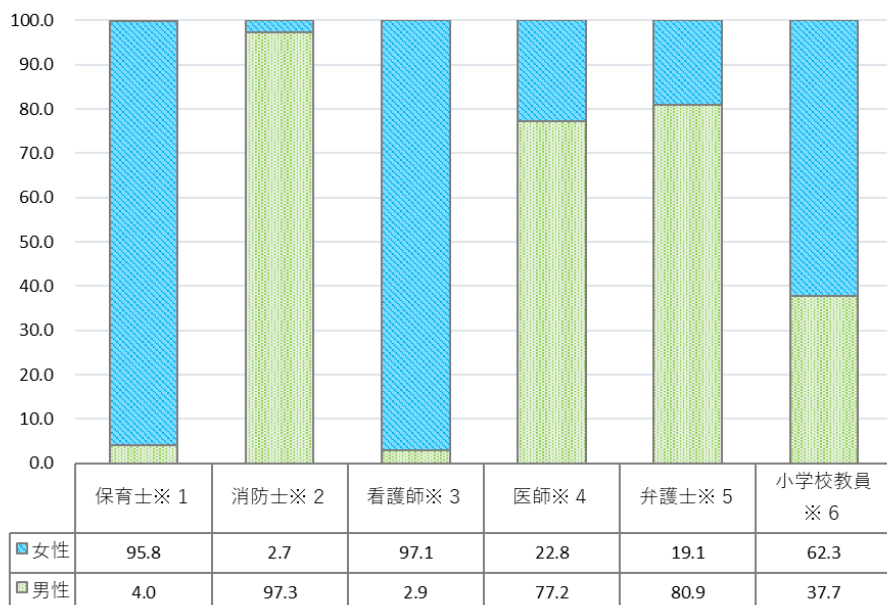
### 指導上の留意点

- ・資料1から、職業によっては男女比に偏りがあることに気付かせる。
- ・意見を自由に出し合う雰囲気をつくる。
- ・どうして職業によって性別の偏りがあるのかを考えさせる。
- ・性別の偏りがある企業に、例えば女性が多い企業に男性が勤務することになったら、どのようなメリットが考えられるか。また、どのような活躍が期待されるかを考えさせる。男性が多い企業に女性が勤務することになった場合についても考えさせる。
- ◎男女どちらかに偏った議論にならないように配慮しつつ、話し合いができるようにする。
- ・男女に関わらず、一人一人の特性が活かされ、尊重される、働きやすい環境をつくることが重要であることを考えさせる。
- ・性別による仕事の偏りがないようにしていくためにはどうすべきか考えさせる。

## 資料

### 【資料1】

職業別男女比



#### 【出典】

- ※1 厚生労働省「保育士の現状と主な取組」(R2.8.24)
- ※2 男女共同参画白書 令和元年版 I-4-7 図 消防本部数及び消防吏員に占める女性の割合の推移
- ※3 厚生労働省 令和2年衛生行政報告例(就業医療関係者)の概要
- ※4 厚生労働省「令和2(2020)年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況」
- ※5 男女共同参画白書 令和3年版 I-1-10 図 司法分野における女性の割合の推移
- ※6 男女共同参画白書 令和3年版 I-5-4 図 本務教員総数に占める女性の割合(教育段階別 令和2(2020)年度)